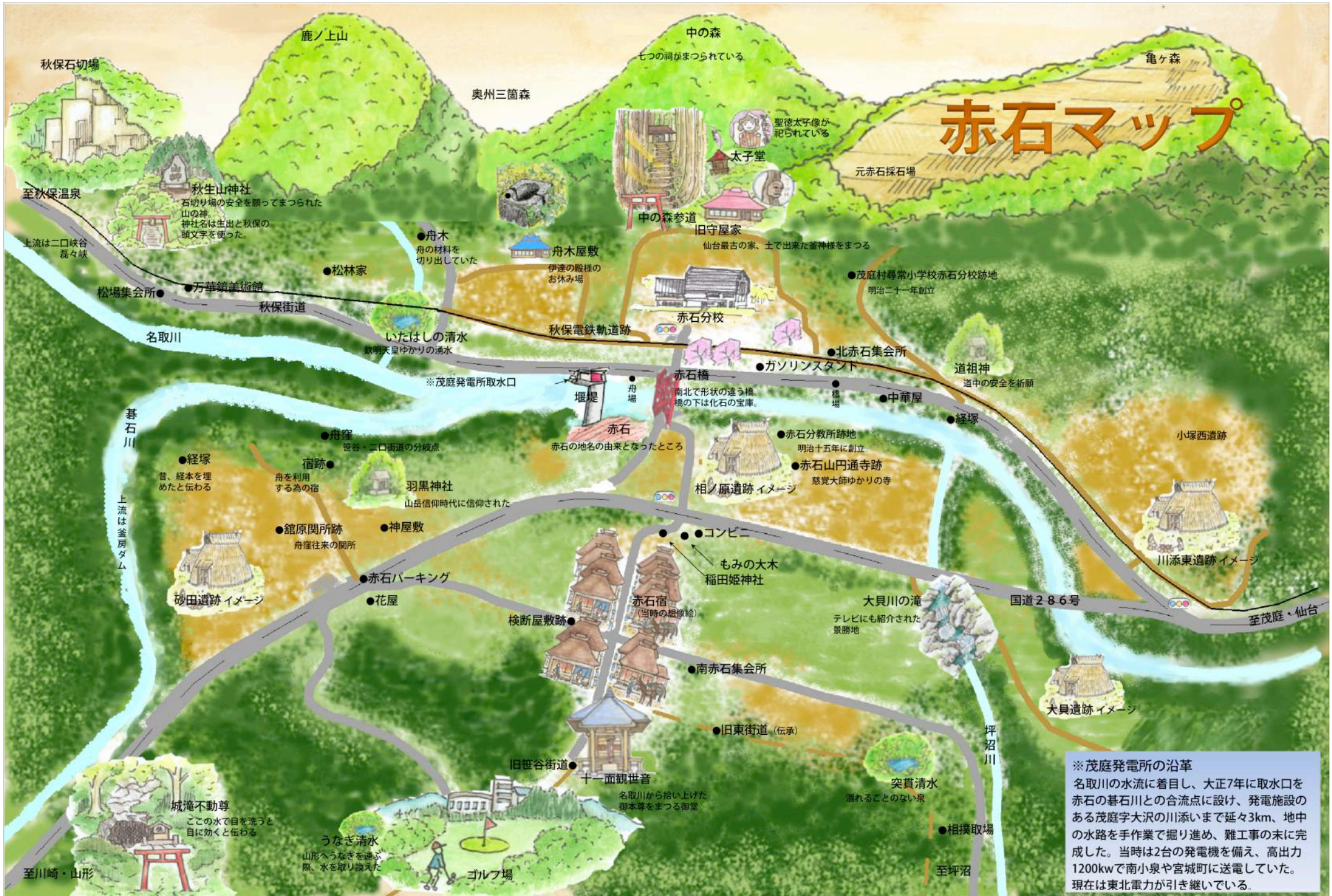


# 赤石マップ



※茂庭発電所の沿革  
名取川の水流に着目し、大正7年に取水口を赤石の碓氷川との合流点に設け、発電施設のある茂庭字大沢の川添いまで延々3km、地中の水路を手作業で掘り進め、難工事の末に完成した。当時は2台の発電機を備え、高出力1200kwで南小泉や宮城町に送電していた。現在は東北電力が引き継いでいる。